

坂城町に

受け入れられて

縁があつて坂城に

河内 時信さんは坂城町の鉄の展示館の学芸員をされていますが、生まれは岡山県ですよね。どうして坂城町で就職したんですか。

時信 まず信州とのご縁は、大学院生時代に長野市と一緒に長野市の大室古墳群の発掘調査・研究を行ったことですね。修士論文のテーマに、横穴式の石室があるんですが、その構造がいろいろなパターンがあつて面白かったので、これは一丁、大室古墳を自分で測量して図面もつくつて研究してみるかなと思つていたら、長野市から嘱託職員の話が出て、長野市役所に嘱託職員として足かけ六年、勤めていました。

河内 考古学がきっかけで学芸員になったんですね。

時信 学芸員は、小学校六年生のときの担任の先生が歴史が大好きで、いろいろ教えてもらったのがきっかけで、自分も歴史に興味を持ったんです。歴史と言っても幅広くて、文献を調べる歴史家だったり、エジプトのピラミッドを徹底的に調べる人もいたりするんですが、自分の場合は発掘が

やりたいという思いがもう小六のときにありました。

それで、このまま嘱託だと将来が心配だし、昔は公務員試験には年齢制限がありましたから、二九歳になるときに公務員試験を受けて、坂城町の正規の職員になったということです。

河内 ちゃんと公務員試験を受けて、偉いですね。私は代々続いている刀鍛冶の家に生まれました。私の父もこの坂城町で、先代の宮入（行平）のところで修業をしています。父は、昭和四一年から五年間ぐらい坂城にいました。私は、小さいときからとにかく刀鍛冶にだけはならない人生を送ろうと思つていたんです。

時信 職人の世界、意外とそういう人がいますよね。

河内 だって、あんな汚い貧乏な仕事は絶対やらないぞと思つていました。実家は奈良県の吉野郡で、高校は遠くて通えないので、下宿をいいことになるべく遠い高校を選んで受験して、祖父母の家から通ったり、アパートを借りたりしてね。大学を出

て「よしよし、これでもう刀鍛冶にならなくていいぞ」と思つていたんですが、当時は就職難で、仮に就職できてもろくなところはないなと思つて、それで海外にでも遊びに行つてみるかと思つて、一年アルバイトをしてお金をためて、当時はやっていたワーキングホリデーでオーストラリアに一年行きました。その後、帰るのが嫌でバックパッカーでアジアをぶらぶらしたりしていましたね。

時信 刀匠とは正反対の生き方じゃないですか。

河内 それがね、その後お金がなくなつて日本に帰ってきて、東京に住んでいた弟のところで世話になつて仕事をしていた海外に行ったりしていたんですけれど、小さいときから知っていた私の師匠（宮入小左衛門行平）が、渋谷の東急百貨店で初めてやった個展を見に行つたんです。

宮入も跡継ぎで結構悩んでいた時期もあつて、すぐ仕事を継がないで北海道の牧場で働いていたり、同じようにバックパッカーで旧東ヨーロッパへ行ったりしていた話を聞いていたので、そのときにそういう話をしたんです。宮入が「でも刀をつくるのも面白いぞ。俺もやってみたら面白かった」という話をしてくれて、帰るときに図録をもらったんです。その図録の一番最後のところに、正確な文言は忘れましたが、ど、「ものをつくることと、旅をすることは同じである」と書いてあつたんです。自分でバックパックを背負つて物理的に旅す

るのも旅だけれど、ものをつくることによって自分の内面の旅ができるみたいなことが書いてあつて、「ああ……」と思つたんです。

刀鍛冶の修業は五年間必要なんです。修業が終わつてやつと許可が取れ、その後食べていけるようになり、賞を取ったりして売れていくまでに十年ぐらいかかるんです。そうすると、四〇歳までに何とかしようと思つたら、やっぱり体力の要る仕事なので体力的なことも考えると、今二七歳だから、やるなら最後のチャンスかもしれないと悩んで、結局やることにしたんです。

でも「ちよつと遊びに行きます」と宮入に電話して行つて、「弟子にしてくださいさっ！」と言つたら、「やめとけ」と、「もう一回考え直してこい」と言われて。その当時の弟子入りは、「帰れ！」と言われて、「お願いします」と半日待つとか、そういう時代でしたから。

時信 まるで永平寺に入門しようとする僧侶みたいですね。

河内 そう。でもそれで、「これこれこういう気持ちでやっぱりやりたいんです」と手紙を書いたりなんかして弟子入りすることができました。二〇〇〇年から五年間坂城で修業して、五年間できちんと許可を取つて、そこから作刀がスタートしました。私はその後、三年ぐらい宮入のところでお礼奉公をしましたが、三年前にやつと今の仕事場を建てることができ、今に至ります。

Ippei Kawachi

河内 一平 (かわち いっぺい)

刀鍛冶
1973年、奈良県吉野郡
東吉野村生まれ

Takeshi Tokinobu

時信 武史

時信 武史 (とき のぶ たけし)
坂城町鉄の展示館 主任学芸員
1976年、岡山県倉敷市生まれ